

# 学校だより

2月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年二月一日

百四十六周年を祝って

校長 吉野達雄

一月十五日は白金小学校の百四十六回目の誕生日でした。歴史と伝統ある、地域から愛されている学校です。このような学校に今、在籍していることを誇りに感じるとともに、みんなで努力しさらに素晴らしい学校にしていきたいでしょう。

誰にでも一年に一回ある誕生日、みなさんの思い出に残っている誕生日はどんな日でしたか。私は小学校低学年の時の誕生日に、野球のグローブをプレゼントしてもらいました。すごく嬉しくて毎日キャッチボールをし、家では磨いて手入れをしながらずっと眺めていた記憶があります。高学年になりもう少し大きなグローブを買ってもらって使わなくなった後も、思い出の品として時々眺めながら大切にしておきました。みなさんは大切にずっと使っている物がありますか。一また買えばいいか」の大量消費の現代で、物を大切に使うとする気持ちが大人も子供も希薄になってきている気がします。白金小学校の六年生には筆箱を一年生から使っています、という人が何人もいます。とても素晴らしいことですね。白金小学校は伝統があり、校舎も古くなっています。決して新しいピカピカの校舎とは言えません。しかし、主事さんをはじめとしてみんなで学校をきれいにし、大切に使っています。百四十六歳の白金小学校をこれからもっと好きになって、大切にしていきたいでしょう。

【字を書くことの大切さ】

始業式で目標をもって生活することの大切さを話しました。その際に、私の今年の目標を話しました。校長としては白金小学校を日本一の学校にすることが、個人の目標としては、「しっかり運動をして体を鍛えること、そして字を丁寧に書くこと」と伝えました。学校でもタブレットが導入されICT化が進んでいる今、字を書く機会が減りつつあります。「書心画也」字は書いた人の心を表すという意味です。字を上手に書くことだけでなく、丁寧に書くこととする気持ちも大切しましょう。学校では、字を書く機会をしっかりと保障し、気持ちを込めて丁寧に書く指導をしていきます。

## 学校行事を振り返って

特別活動担当 坂 愛

先月は、たくさんの方に作品展にお越しいただき、子供たちの個性あふれる作品をご覧いただきました。ありがとうございます。子供たちは作品鑑賞を通して、自分の作品の良さに改めて気づいたり、友達の作品から新たにアイデアを深めたりすることができました。

秋には、学年ごとの運動会を通して、集団で表現する楽しさや自分の走力を伸ばす喜びを感じていました。今年初めて行った六年生の全員リレーでは、クラス全員でバトンをつなぐという目標に向かって、一丸となって練習に取り組みました。その努力が実り、当日は、見ている人にすばらしい感動を与えてくれました。コロナ禍でもしっかりと子供たちは、学びを積み上げてきました。

四年生以上で活動しているクラブ活動では、クラブ発表に向けて、一年間の活動の様子が伝わるような動画を作成中です。来年から参加する三年生に魅力が伝わるような工夫もしています。

五・六年生で活動してきた委員会では、新聞や紙面などの発表に加え、動画での集会など短い活動時間の中、工夫して取り組んできました。

今月は、六年生を送る会があります。六年生が学校のために取り組んできた活動を動画にまとめ全校で見した後、各学年がお礼の動画を作り、発表します。温かい気持ちを届けられるよう、各学年、しっかりと指導していきます。



白金小学校  
Twitter



学校HPからも  
入れます。